

No.69前立腺永久挿入密封小線源治療を受けられる方へ

ID @PATIENTID

氏名 @PATIENTNAME

経過 月日	入院日 / 治療前日 /	治療当日 /	治療後 1 日目 /	退院日 /
治療・処置	リストバンドを装着します。 普段飲んでいるお薬がありましたら、お知らせください。入院中の内服について確認します。 確認のため、薬を飲んだ後の空袋は残して置いてください。 生活質問表・承諾書を看護師にお渡し下さい。 陰部の毛は除毛させていただきます。 眠れない時は看護師にお知らせください。 21時頃に下剤を飲みます	点滴をします。翌日午前まで続きます。 医師の指示があった場合のみ持参薬を内服します。 ()時頃に浣腸をします。 治療は : 頃の予定です。下半身麻酔で行います。 治療の時間は当日の状況により変更になる場合があります。 看護師が声をお掛けしますのでお部屋にてお待ち下さい。 治療着に着替え、血栓予防の靴下を履いて治療室に行きます。	尿道を拡張する内服薬を開始します。 午前まで点滴があります。終了後、針を抜きます。	
		平日、8:30～9:00頃に医師の回診があります。		
検査・測定	身長・体重を測定します。 入院時に検温を行います。	治療中は機械を装着して脈や血圧を測定します。 治療後は、必要に応じて検温をします。	朝、検温と採血があります。 看護師から検査に呼ばれましたら、CT撮影(地下1階放射線科外来)に行ってください。	
食事	昼から食事が出ます。食事の内容・形態・量など変更することもできますのでご相談ください。 21時以降、禁食となります。 その後は、翌朝6:30まで飲水ができます。	朝より禁食です。内服については医師の指示に従ってください。(ペットボトル、ストロー使用し枕元に置いておきましょう。) 治療後3時間後から飲水(水かお茶)ができます。	朝より食事ができます。	
清潔	シャワーに入ってください。			
排泄		治療終了後、尿の管が入ります。翌日の午前中まで続きます。	CT検査終了後、尿の管を抜きます。抜去後は尿を蓄尿びんにためて下さい。(方法は看護師が説明します。)午後、残尿測定を行います。	
活動	特に制限はありません。病棟を長時間離れるときは看護師に声をお掛けください。	治療終了後、翌日の朝までは、ベッド上安静となります。	検温のあとから歩行可能です。特に制限はありませんが、病棟を離れる際は看護師に声をお掛け下さい。	
患者・家族の皆様への説明等	看護師より入院生活、病棟内の説明があります。(入院案内に同様の内容が記載されています。) 血栓予防の靴下をお渡しします。 治療に必要な物品を確認します。(アテントテープ式 1枚入り)	当日の面会制限はありません。面会の際は入室記録への記載が必要になります。(看護師が説明します。) 用意していただいた物品は治療後に使用します。 用事がある場合や痛みがある時、気分の悪い時などは看護師に声をお掛け下さい。	水分は多めにとって下さい。1～1.5Lくらいが目安です。水分を多めにとり、尿を出すことが、排尿時痛・血尿の改善、感染予防に有効です。 退院後の生活について放射線科医師・看護師より説明があります。(看護師より、治療カードをお渡しします)	退院の手続き・次回外来について説明しますので9時以降ナースステーションにお越しください。 『入院のご案内』にあるアンケートにご協力下さい。

経過は個人差があります。ご不明な点は医師・看護師にお尋ね下さい。(上記内容は変更になる場合があります。)

東京医療センター 3階A病棟 2018.1.26(改訂)(ver2)(No.69)